

平成27年度 第1回 伊豆市地域公共交通会議

協議事項

伊豆市総合政策部総合戦略課 平成28年1月22日（金）

来年度の路線バス系統について ①

① 自主運行バス

・市内17系統【新東海バス】

系統番号	系統名 (路線名)	運行系統			系統 キロ程 (km)	運行回数 (回/日)	運行時間帯 (修善寺駅発)	平均乗車 密度 (人)
		起 点	経過地	終 点				
1	修善寺・天城の杜線	修善寺駅	本立野	天城の杜	16.9	5.5	6:20~19:00	3.1
2	修善寺・持越温泉線	修善寺駅	本立野	持越温泉	19.5	1.5	17:40	5.3
3	修善寺・持越温泉線	修善寺駅	吉奈温泉	持越温泉	21.7	1.0	15:30	3.7
4	修善寺・湯ヶ島温泉線	修善寺駅	本立野	湯ヶ島温泉	14.7	4.5	7:15~18:30	2.5
5	修善寺・湯ヶ島温泉線	修善寺駅	吉奈温泉	湯ヶ島温泉	16.9	1.0	12:45	2.7
6	修善寺・柿木大野線	修善寺駅	下柿木	柿木大野	11.8	1.8	15:45~18:10	1.0
7	柿木循環	修善寺駅	柿木循環	修善寺駅	17.1	2.0	7:35~13:25	0.5
8	天城小・長野線	天城小学校	田沢	長野	8.0	0.8	14:55~15:55	5.2
9	修善寺・上大沢線	修善寺駅	牧之郷	上大沢	9.8	2.4	5:55~16:00	2.0
10	修善寺・湯舟口線	修善寺駅	小山	湯舟口	4.4	2.0	6:17~18:38	1.7
11	修善寺・湯舟口線	修善寺駅	寺山口	湯舟口	4.6	2.0	6:34~18:55	3.6
12	修善寺・競輪学校	修善寺駅		競輪学校	6.7	0.6	6:55	1.9
13	修善寺・下尾野口線	修善寺駅	冷川	下尾野口	10.4	3.8	10:15~19:15	2.9
14	下尾野口・修善寺線	下尾野口	中伊豆温泉病院	修善寺駅	14.0	0.8	7:23~18:09	1.6
15	下尾野口・沢口線	下尾野口	冷川	沢口	6.8	1.3	14:54~15:46	0.3
16	修善寺・伊東線	修善寺駅	冷川峠	伊東駅	13.4	6.0	7:00~18:30	2.7
17	修善寺・温泉病院線	修善寺駅		中伊豆温泉病院	5.6	7.6	8:03~17:10	1.7

来年度の路線バス系統について ②

9月末日 平成28年度 伊豆市自主運行事業申出書を提出

11月6日 静岡県生活交通確保対策協議会地区幹事会において、
申出路線の現況等の説明を行った。

⇒ 自主運行バス路線については、住民の生活路線として欠かすことの出来ない重要な路線となっている。特に小・学・高校生の主要な通学手段であるとともに、高齢化が進む農村部においては近隣商業地・病院等へ出掛けるための交通手段となっている。

以上のような現状から来年度も今年度と同様に、17系統について運行を継続したい。(今年度と申し出路線の変更なし)

来年度の路線バス系統について ③

② 県過疎バス路線

- ・ 修善寺駅～姫之湯～筏場新田【伊豆箱根バス】
- ・ 修善寺駅～入屋【伊豆箱根バス】

③ 国庫補助路線(地域間幹線系統)

- ・ 修善寺駅～地蔵堂・貴僧坊～筏場【伊豆箱根バス】
- ・ 修善寺駅～虹の郷～戸田線【新東海バス】

→②・③ともに11月6日の静岡県生活交通確保対策協議会地区幹事会においてバス事業者から単独継続困難の申出があった。

⇒ 中伊豆線(上記3路線)については、中伊豆地域と修善寺駅間を結ぶ重要な路線となっており、沿線住民の通勤・通学等の日常生活における主要な交通手段となっているため、来年度も今年度と同様に運行を継続したい。(今年度と申し出路線の変更なし)

来年度の路線バス系統について ④

⇒ 戸田線は、昨年度の本会議及び県協議会で承認され、平成27年10月から国庫補助路線として運行している。

修善寺駅から虹の郷を經由し、鉄道のない戸田地区までを結ぶ重要な路線であり、利用者は、戸田地区から修善寺駅への通学・通院等の利用、修善寺駅から戸田方面への観光利用が多く、沼津市と伊豆市の境を越えた利用が半数以上を占めている。

様々な改善策を実施しているが収支状況は依然として厳しい状況であることから、引き続き国庫補助路線として運行を継続したい。

(沼津市：1月19日沼津市公共交通活性化対策協議会において承認済)

【H27乗降調査結果】

141人中、戸田峠を越えている人員83人（58.9%）

（うち通勤3人、通学25人、通院等38人、観光利用17人）

※H26乗降調査結果に比べ、利用人員が31人増加（うち通院等10人、観光利用11人の増加）。